

# 三愛 view

発行所：三船病院相談室  
 創刊日：2003年8月15日  
 〒763-0073  
 香川県丸亀市柞原町366  
 Tel 0877-23-2341  
 Fax 0877-23-2344

## 「 オーダリングシステムバージョンアップ後の薬局の方針 」

薬局長 直江 正保

当院では平成22年9月のオーダリングシステムのバージョンアップに伴い、薬局のシステムも機能アップしました。今回注射薬をオーダー導入したことで、殆どの医療品がパソコン対応可能となりました。また、これまで手書き対応であった外来患者様の薬袋や医薬品情報紙等もパソコン作成となり、正確性の向上と時間の短縮が可能となりました。それにより捻出された時間を利用して、入院患者様へのチーム医療として薬剤管理指導業務等を実施しております。

薬剤管理指導などの病棟業務は、薬歴管理や医薬品情報紙を用いて薬剤師が患者様と直接対話できる機会です。薬の説明により安全な薬物療法を提供できるよう、常に心掛けております。また科学の進歩により医薬品は常に改善され変化するため、最新の情報は患者様へも適切にお伝えします。例えば、最近の傾向として錠剤やカプセル剤(徐放剤、口腔崩壊剤等)が増加しています。錠剤やカプセル剤の加工がし易いことや調剤時に分包による損失が出ないことなどがありますが、何より一番の理由は患者様にとって飲み易いことです。しかし注意点として、噛まずに服用していただく必要があります。噛み砕くと加工が崩れ十分な効果が発揮できないだけでなく、予期しない作用が生じる場合があります。服用の際には十分ご注意ください。なお、経管栄養等で錠剤が飲めない場合には、簡易懸濁法(服用直前に溶解する方法)で投与可能になります。

また病院機能評価に準じて医薬品の在庫管理・品質管理を行い、常に安全な医薬品の提供を行っています。治療中に万が一薬の副作用が発見された際には厚生労働省に直ちに報告し、安全な医薬品の製造を医薬品メーカーにも働きかけます。

更に医療費節減に大きく貢献できる後発医薬品(ジェネリック)の導入も積極的に行っています。後発医薬品とは、有効成分の特許をとって販売している新薬と同じ成分を使い別の会社が開発した薬です。既に安全性や効き目が確立されていることから開発期間が3年程度と短く、特許情報などを元に作られるため開発費用も安くなります。そのため新薬の特許が切れた後に、7割以下の薬価で安く提供することができるのです。

このように業務に取り組むことで、当院薬剤師は今後も患者様への安全で適切な医療の提供とサービス向上に寄与し、信頼され安心して薬物療法を受けていただけるよう、日々邁進する所存であります。

- ・徐放剤：体内でゆっくりと溶けるため、服用回数が少なくてよい錠剤
- ・口腔崩壊剤：口に入れると速やかに溶ける錠剤



## 「 栄養管理課の取り組みについて 」

栄養管理課 主任 岡 浩実

栄養管理課は診療部門に属し、給食業務を直営で行っています。スタッフは管理栄養士3名、栄養士1名、調理師7名、調理員3名、パート8名、洗浄アルバイト11名の計33名です。病院、デイケアと7月1日より再開となったデイ・ナイトケアを合わせた1日約1200食の食事を提供しています。

栄養管理課の業務は、給食業務と栄養管理業務の大きく2つに分かれています。

給食業務には献立作成(発注、検品、衛生管理含む)、調理、配膳、洗浄とさまざまな作業があり、献立作成は管理栄養士・栄養士が行います。その他の業務は管理栄養士を中心に役割分担し、スタッフ全員で取り組

んでいます。平成18年度より病棟配膳方式で適時適温給食を開始し、4年が経過しました。各病棟2台ずつの保温冷車で病棟の配膳室まで食事を運び、そこで配膳します。配膳には病棟スタッフの協力を得て、管理栄養士・栄養士が配膳指導及び食事指導を行っています。患者様の喫食状況や嚥下状態、残飯量等を確認し、問題点があればスタッフミーティングで検討し改善を図ります。また年2回嗜好調査を実施し、結果は栄養管理委員会で報告しています。栄養士が患者様に直接聞き取りを行っており、献立に対する意見・要望をできる範囲内で献立に取り入れています。

衛生管理については、近年は年間通じて食中毒が発生しており、当院でも大量調理施設衛生管理マニュアルに従い、徹底的に食中毒の予防に取り組んでいます。調理従事者に対する衛生教育も定期的に行い、食品衛生に対する意識を高めています。

栄養管理業務は主に管理栄養士が行います。栄養指導、栄養管理計画書の作成、栄養教室等です。栄養指導は入院・外来患者様を対象に、主治医の指示書に基づき実施しています。指導には資料だけでなく、実物のジュースやお菓子を使う等、わかりやすい指導を心がけています。平成18年より、食事時間以外にも病棟へ足を運び、患者様と接する機会が増えました。院内の様々な委員会や回診に参加するようになり、多職種と協

力して栄養管理を行うようになりました。病棟以外のスタッフからも食事や栄養についての質問や相談を受けることが多くなり、個別対応食への取り組みも行っています。私たち自身も日々勉強しながらではありますが、栄養管理の必要性を伝えていきたいです。

今後の課題は、嚥下訓練食、ソフト食への取り組みです。香川県栄養士会病院協議会でも、施設間の嚥下レベル及び食形態の共有化を図り、地域連携に対応するために、活動を始めています。当院でも管理栄養士・栄養士が研修に参加し勉強していますが、限られた調理時間や人員の中で、リスク管理や安全性を踏まえ、患者様が満足感や幸福感が得られるような食事援助技術を高めていくことが必要だと思っています。

食事は入院生活を送られている患者様の楽しみの一つです。今後も直営給食の利点を活かし、先輩方から受け継いだ「伝統の味」を守りながら、患者様に喜んでいただけるような新しいメニューにも取り組んでいきたいです。栄養管理課が掲げている「おいしく安全で心豊かになる食事作り」を目標に、心と体の栄養をケアできるチーム医療の一員として、今後もより一層努力していきます。

## 三船病院医師からのメッセージ・・・

### 非アルコール性脂肪肝炎 (NASH)について

三船病院医師 今井 秀記

最近メタボリックシンドロームや脂肪肝という言葉がよく使われています。脂肪肝は脂肪性肝疾患に含まれます。脂肪性肝疾患とは肝細胞に中性脂肪が沈着して肝障害をきたす疾患の総称です。脂肪性肝疾患は二つに分けることができます。一つが肝細胞に脂肪が沈着しただけの単純性脂肪肝と呼ばれるもの、もう一つは結合組織と呼ばれる部分の異常増殖（線維化）や壊死・炎症がみられる脂肪肝炎です。

脂肪性肝疾患のうち飲酒歴がないにも関わらずアルコール性肝障害に似た障害が生じる症例を、まとめて非アルコール性脂肪性肝疾患と呼びます。そのうち脂肪肝炎を認める症例を非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) と呼び、その病因は糖尿病・肥満・高脂血症や脂質代謝異常・ミトコンドリア機能異常などが考えられています。治療をしないまま放っておくと肝臓の線維化が進み肝硬変となり、最終的には肝癌が発生することもあります。また単純性脂肪肝から NASH に移行することもあるので、どちらの場合も注意が必要です。

治療には薬をういますが、体重の数%を減らすことで改善する場合が多いと言われています。食事内容に気をつけ普段から運動を取り入れるなど生活習慣を見直し、NASH から身を守りましょう。

# 三愛会 トピックス

## ★三船病院クリスマス会

昨年12月25日(金)に毎年恒例のクリスマス会を開催しました。ゲストにピアニカアンサンブル CANの皆様をお招きし、迫力のある演奏でたいへん盛り上がりました。からあげ、ケーキ、フランクフルトなどのバザーも好評でした。



## ★第26回相談室セミナー

昨年12月2日(木)に精神障害者地域移行支援特別対策事業PR事業のキャラバン隊を講師にお迎えし、地域への退院についてのお話をいただきました。実際に事業を利用して退院された方のお話とあって、たくさんの方が参加され、皆さん興味深そうにお話を聞かれました。



## 三船病院 委員会活動紹介 「個人情報保護委員会」



平成17年4月1日、個人情報の保護に関する法律(「個人情報保護法」)の施行に基づき、当院でも個人情報保護委員会を平成18年1月に発足しました。当委員会の主な役割・目的は、個人の権利を保護することにあります。以前より、各種法律により「業務上取り扱ったことについて知り得た、個人の秘密を漏らしてはならない」という守秘義務があります。そのため、患者様の情報を職場以外では口外しない、患者様の情報書類は裁断して破棄する、等、これまで患者様のプライバシー保護に努めてきました。加えて今回の個人情報保護法により、よりいっそうの個人情報管理に組織的に取り組む必要が出てき

ました。

また、「医療機関における個人情報の保護」によると、①個人情報を収集する際には情報の利用目的を特定して本人にわかりやすく説明し、不正のない方法で収集しなくてはならないこと、②収集した情報は安全に保管すべきこと、③本人が望まない方法で利用されている場合には、それをやめるよう要求できること、等があります。

当院の個人情報保護委員会は、「個人情報。用心！用心！カテナッチオ(守備固め)」というキャッチフレーズのもとに、職員一同、これまで以上に個人情報の保護に努めてまいりたいと思います。

### 《委員会》

- |                    |                     |                   |
|--------------------|---------------------|-------------------|
| ・教育委員会(第1水曜日)      | ・衛生委員会(第2水曜日)       | ・病院機能評価委員会(水曜日)   |
| ・個人情報保護委員会(第1水曜日)  | ・業務改善委員会(第2水曜日)     | ・倫理委員会(年1回)       |
| ・情報システム委員会(第1水曜日)  | ・診療録管理委員会(第2金曜日)    | ・医療ガス安全管理委員会(年1回) |
| ・クリニカルパス委員会(第1水曜日) | ・薬事審議委員会(第1水曜日)     | ・予算管理委員会(年1回)     |
| ・地域生活支援委員会(第1水曜日)  | ・院内感染対策委員会(第3金曜日)   | ・接遇管理委員会(年2回)     |
| ・行動制限最小化委員会(第1金曜日) | ・栄養管理委員会(第2水曜日)     | ・診療情報提供委員会(随時)    |
| ・人権委員会(第1金曜日)      | ・褥瘡予防対策委員会(第2水曜日)   |                   |
| ・医療安全管理委員会(第2水曜日)  | ・患者サービス向上委員会(第2水曜日) |                   |



## 【介護老人保健施設 福寿荘】

### 「 福寿荘の年間施設行事について 」

支援相談員 安藤 由佳

福寿荘では利用者の方全員を対象とし、毎月行事を施設内外で行っています。施設内では、夏祭り行事で屋台を開いたり、敬老行事でふれあいの集いを開いたりなどし、施設外では春に桜を見に行ったり、春季遠足で公園散策に行ったりなどしています。

年間行事は、毎年秋に施設長を始め、各職種の代表者が年間行事計画策定委員会を開催し、過去の行事報告などを参考に利用者の方の感想を踏まえて意見交換をし、年次の年間行事を決定しています。年間行事が決まれば、各行事の1ヶ月前に利用者の方の代表と職員で構成される4つの班が交代で担当し、内容をどのようなものにするか話し合い、準備・実施しています。

行事計画・内容を決定する上で大切にしていることは、利用者の方「全員」が楽しめるものにする、行事も好みがあるため、その都度利用者の方の様子を見て即対応ができるようにすること、職員も一緒になって一体感のあるものにするということです。

重症化に伴い、行事の内容によっては参加が難しい方もみられるようになってきました。出来る限り多くの方に、いつもと違った雰囲気を感じて明るい気持ちになってもらえるような行事を行っていきけるように、今後も取り組んでいければと思っています。

## 【三愛会コミュニティケアセンター】

### 「 就業・生活支援センターくばらの支援について 」

障害者就業・生活支援センターくばら 主任就業支援ワーカー 精神保健福祉士 高田 裕子

障害者就業・生活支援センターくばらは、平成20年4月に香川労働局と香川県からの業務委託を受け開所しました。「企業で働きたい」と希望する障害のある方の、就職の支援と職場定着の支援を行います。平成14年「障害者の雇用の促進等に関する法律」の改正により、香川県内では大川・高松・中讃・三観圏域にそれぞれ1か所ずつ設置されています。

具体的な支援内容としては、ご本人やご家族からの相談援助、就職に向けた準備支援としての職場実習、ハローワークや就職面接の同行、職場定着のための職場訪問、障害者の受け入れ企業の開拓、企業(事業所)に対して雇用管理に関する助言等を行います。また、生活支援としては、生活習慣の形成・健康管理・金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言をします。昨年度からは、就職した方々によるミーティングを年に数回行っています。働き始めてからの感想として、「賃金を得ることができて良かった」「社会的役割を感じる事ができた」「休日のありがたさを知った」等の意見をミーティングで聞くことができました。

くばらが開所してから約3年が経過しようとしています。現在の登録者は181名(精神47名・知的70名・身体38名・その他26名)で、昨年度の就職者数は25名、職場実習は36件でした。くばらの利用対象者は、障害の種別は問わず、障害者手帳を取得していない方も利用可能です。実際に就職して継続して仕事を続けるためには、ご本人の努力はもちろんのこと、企業の理解や家族・関係機関の協力も必要です。今後も、働きたいと願う気持ちを大切に、それを応援できる地域の就労支援体制を作っていきたいと思っています。

#### 《三船病院からのお知らせ》

##### 【行事予定】

○三船病院家族会

今年も5月に開催予定です。



#### 《編集後記》

寒い日が続いておりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？

今回は機能アップした薬局についてご紹介しました。三船病院では今後も更なる質の向上を目指して、職員一同取り組みたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

(三船病院相談室PSW)